

令和5年度麻布大学同窓会関東ブロック支部長会議の開催について

日本三名園である「偕楽園」(茨城県水戸市)の早咲きの梅の香りが漂う立春の日(令和6年2月4日)に、「令和5年度 麻布大学同窓会関東ブロック支部長会議」を開催しました。

今回の開催はコロナ禍の影響により、令和2年度から対面での開催を見送ってまいりましたことから、4年ぶりの開催となりました。同窓会本部からは、来賓として獣医学園理事長 小倉弘明氏をお迎えし、関東ブロックの各支部からは14名(千葉県2、栃木県2、群馬県2、埼玉県2、山梨県1、茨城県5)の各支部役員等、計15名の出席者により開催することができました。「立春」とは言え寒風のなか、遠方からご出席いただきました小倉理事長を始め各支部役員の方々に感謝申し上げます。

会議に先立ち小倉理事長からは、「麻布大学の現況」として、今後の魅力的な大学の教育研究作りに関する検討状況等に関するご説明があり、今後の獣医界における「麻布獣医学園」の大いなる貢献が期待されます。

また、会議では各県支部における同窓会会員の現状と課題等について報告がありました。各県支部とも県内の組織(県域各団体)等を活用した、会員数の維持と新入会員の確保に努めているなど、支部独自の活動が大変参考になりました。何れにしても、大学在籍中から同窓会の歴史と組織構成(本部・全国各支部の関係)等について、情報提供を行うことが必要であると思われました。

なお、令和6～7年度(2年間)の幹事支部は栃木県支部が担当することを決議して会議は閉会となりました。その後、引き続き行われた懇親会では同期、先輩・後輩等の再会を祝して大いに盛り上がり(昭和時代を思わせる宴会)、対面での大変有意義な会を開催することができました。同窓会本部のご支援とご協力に感謝申し上げます。

(茨城県支部事務局)

